

## 放課後児童クラブのニーズ量の見込み算定と確保方策について

## 1. 量の見込み算定

## 【（修正前）提供区域ごとの量の見込み算出】

- ・ニーズ調査から市全体の量を見込み、各小学校区別に按分することで算出した。按分率は、各小学校区の0～11歳の人口推計比率（全市の対象児童人口を1として）をもとに設定した。  
そのデータから現在の利用状況等を勘案して量の見込み値（暫定）とした。

## 【（修正後）提供区域ごとの量の見込み算出】

- ・按分率を、各小学校区別の6～11歳の人口推計比率および在籍児童数比をもとに設定した。そのデータと修正前を比較し、かい離の大きい学区について量の見込み値を上方修正した。

(例) 岡山学区

## 修正前

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み (低学年)	45人	46人	45人	46人	47人
量の見込み (高学年)	16人	16人	17人	17人	17人



## 修正後

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み (低学年)	44人	50人	56人	60人	62人
量の見込み (高学年)	14人	15人	16人	19人	21人

## 参考(人口推計)

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
6～8歳 (低学年)	228人	259人	290人	301人	311人
9～11歳 (高学年)	156人	166人	182人	210人	238人
0～11歳	1,022人	1,077人	1,140人	1,178人	1,199人

## 2. 確保方策について

提供区域ごとに平成31年度までに量の見込みの不足分に対する確保方策を実施することが原則ですが、小学校区をまたいでの利用も可能であるため、柔軟に対応してはどうか。